

秋祭り 神輿かつぎ (角の浦)

肩エーテ チョイヤサッサ 明日アーナードー……
秋祭りには、ご神体が浜の宮（海辺）に移され祭礼が行われた。
みこしをかつぐのは、30人位で夜半迄巡行した。

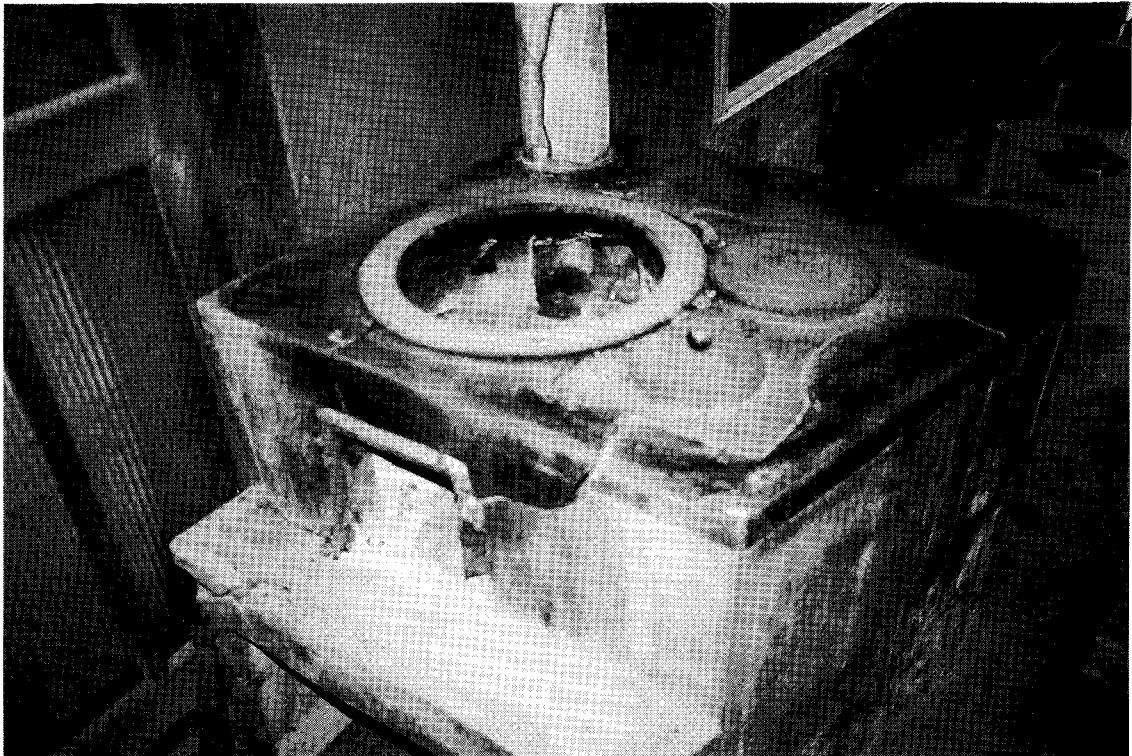


七夕行事風景 (角の浦)

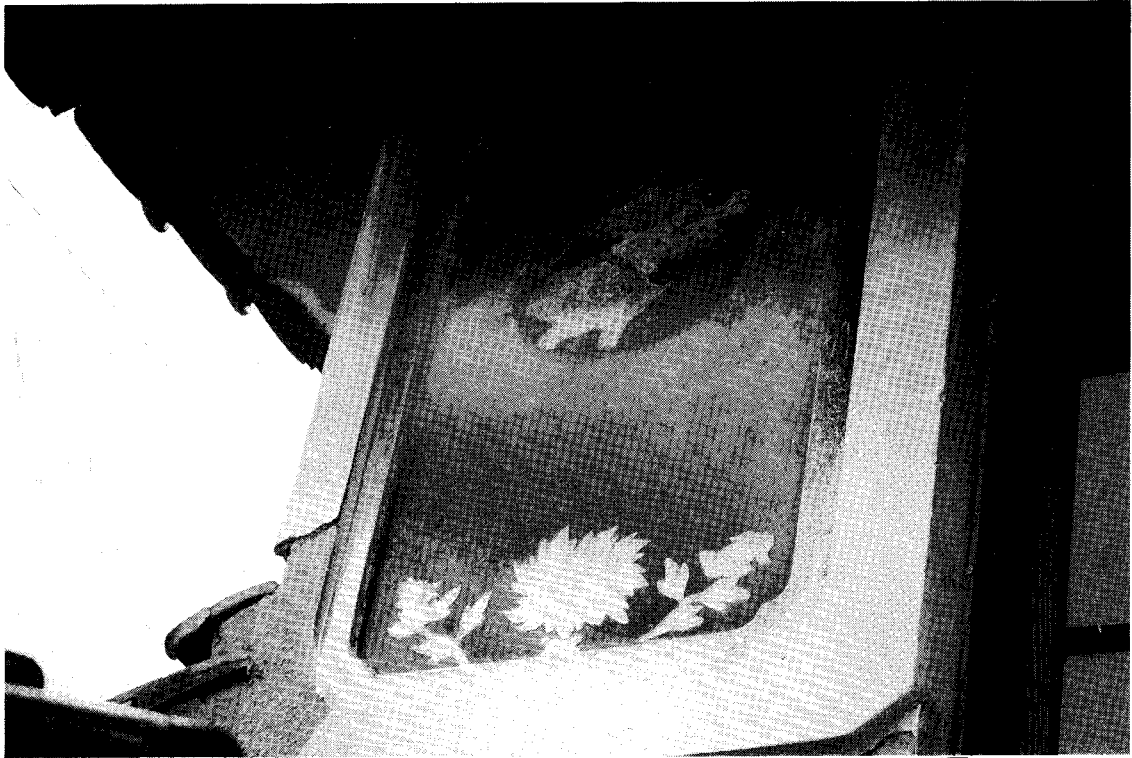
七夕祭の翌朝子供達は海に笹を流す。
笹にはそれぞれの願いごとを五色の短冊に書く。



今では見られなくなった煙突

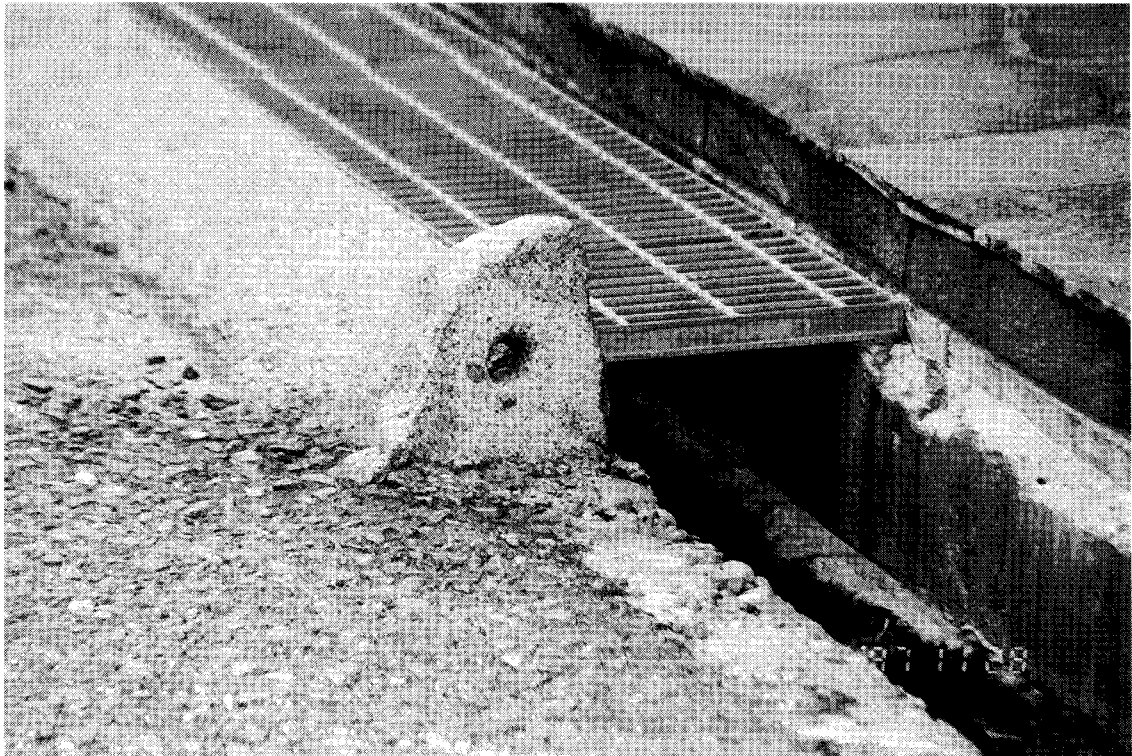


クドとドウコ（台所風景）



戸袋（雨戸入れ）（今福屋宅）

今では見られなくなった鋳職人の技。絵柄は唐獅子に緋ぼたん。



馬・牛の手綱を繫いだ「鼻ぐり石」（飯野屋出店宅前）

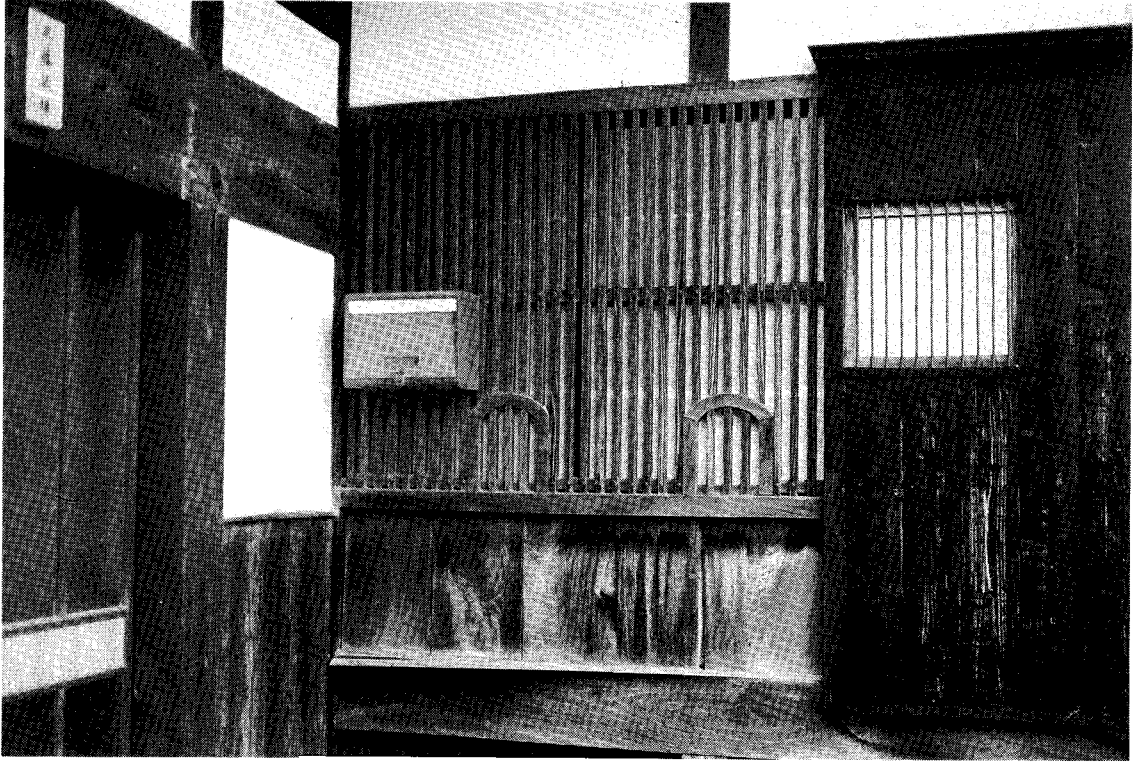
今ではここ1カ所しか残っていません。



戦前・戦中頃の鉄道風景
都野津駅構内



出征兵士と、都野津駅改札口 風景



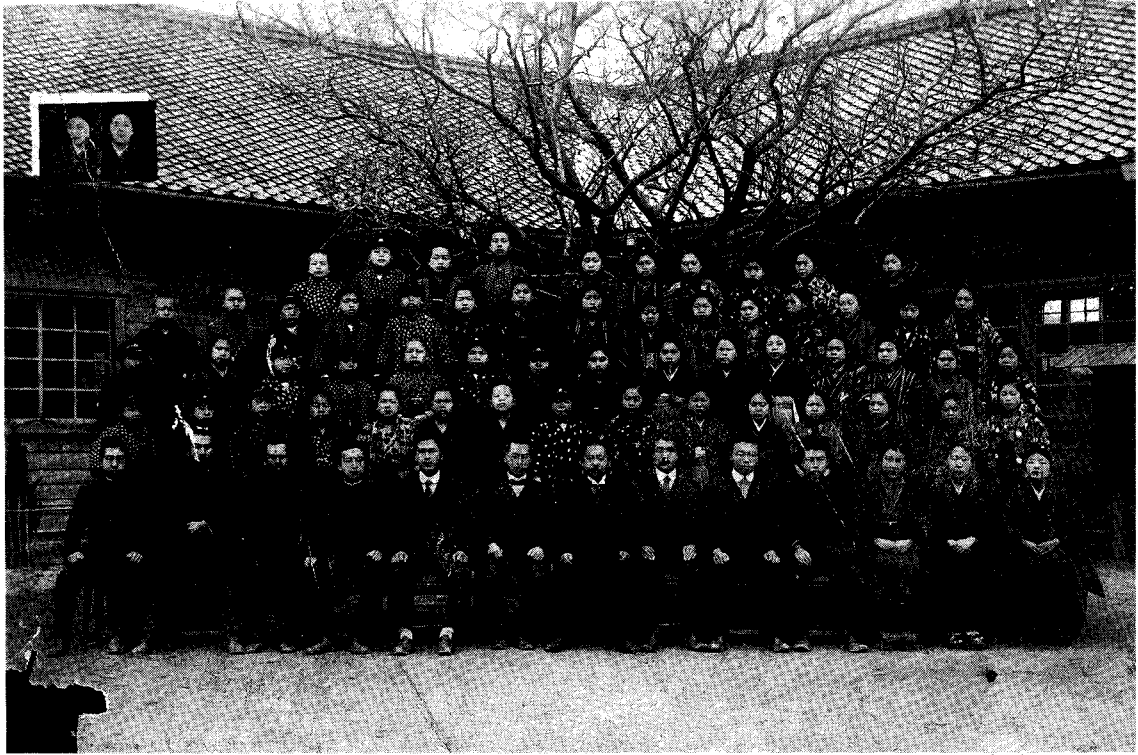
都野津郵便受取所 (川本屋宅)

明治33年8月~明治38年3月



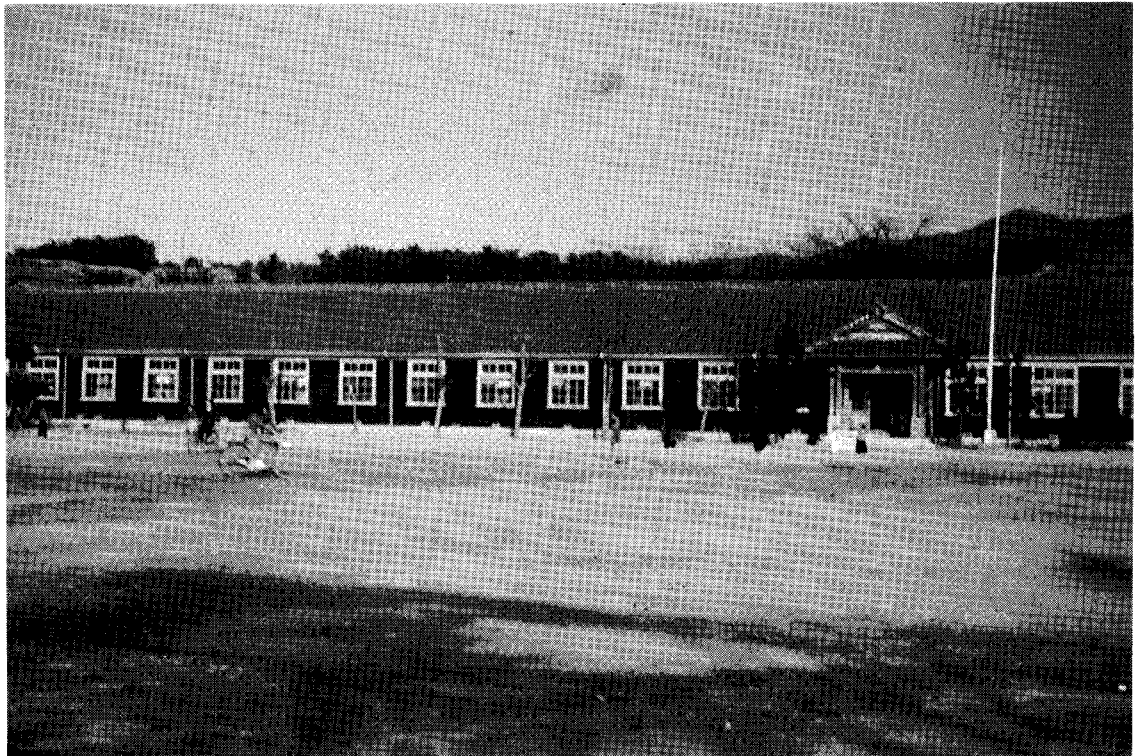
旧都野津町郵便局

昭和6年~昭和60年8月建物



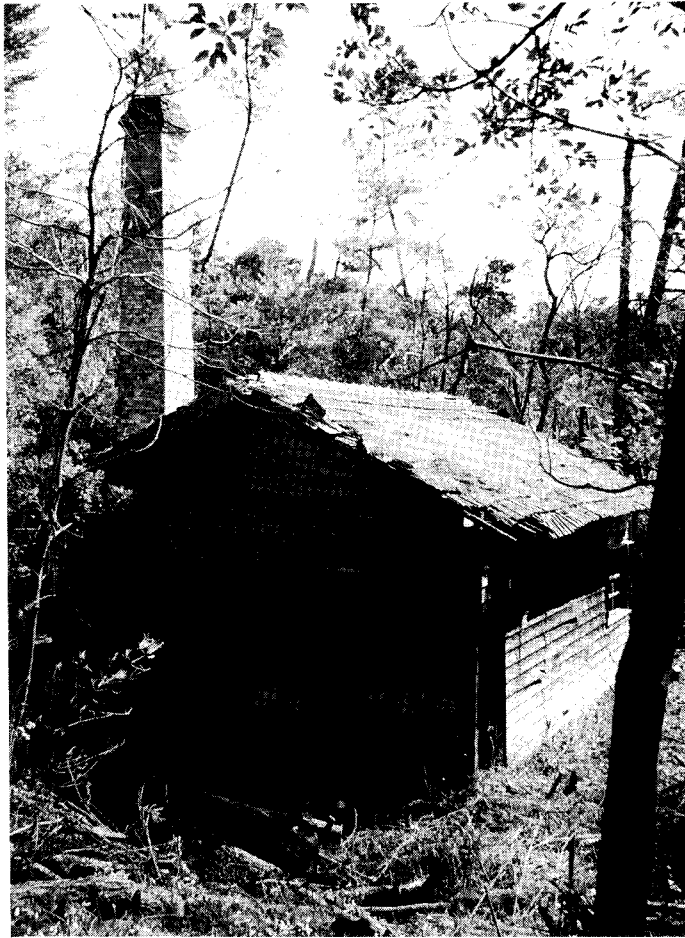
大正末期の卒業記念写真（尋常高等小学校）

明治20年1月～昭和9年建物
現在の8町内にありました。



都野津小学校

昭和9年10月～昭和50年8月建物。
現在の江津高等学校グラウンドにあり、小学校からのちに高校へと
変わりました。



遠見山火葬場

昭和21年12月～
江津市政となり、今ではとりこわされています。



葬式風景（昭和28年代の写真）

野辺の送りのために西岸寺へ向う。

西岸寺横のローソウ地藏

(咳 地 蔵)

タバコを持って詣ると咳をなおして下さる。

ゼンソクの人や、タバコを止めたい人が、線香の代わりにタバコを供える。



塞（才）の神

耳の神。村の外から入ってくる疫神、悪霊などを境でさえぎる功德の神。当時の都野津村と和木村の境にあります。